Shin-Etsu
信越シリコーン

屋外タンク底部雨水浸入防止用シリコーン粘着シート

イヌバシール®&イヌバテープトウメイ™

プライマーレスにより、工期の大幅短縮を実現

イヌバシール® HNS-200

優れた作業性と信頼性を兼ね備えた
屋外タンク底部雨水浸入防止措置用のシリコーン粘着シートです。

シリコーン粘着シート「イヌバシール HNS-200」は、
屋外タンク底部雨水浸入防止措置用に開発した製品です（特許取得済み 第5765268号）。
消防庁より出された「消防危第169号」の屋外貯蔵タンクの
「雨水浸入防止措置に関する指針（S54.12.25）」に合格する底板下への防水用として使用できます。

粘着シートなので作業効率がアップ!

被着面に押さえつけるだけで、シリコーンゲルの粘着層が糸を引くように粘着します。

イヌバシールの粘着力

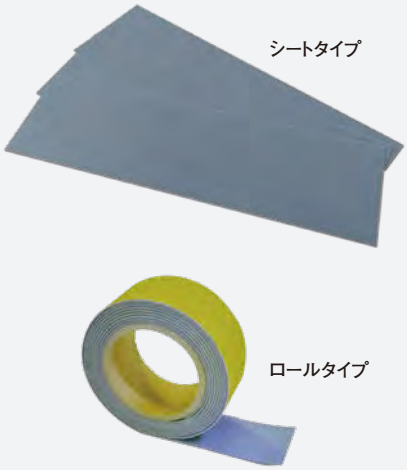
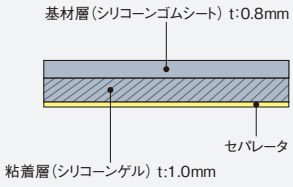
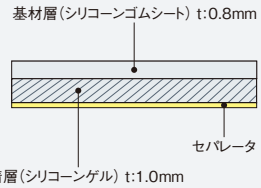
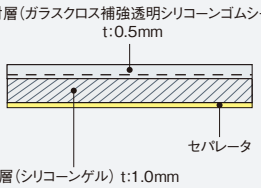
パッチシールクロスの粘着力

耐熱性・耐寒性	-40℃～180℃の広い温度範囲にわたって、安定した性能を発揮します。
耐久性・耐候性	シリコーン製なので、優れた耐久性、耐候性を発揮します。
防水性	長期間にわたり、優れた気密・防水効果を発揮します。
粘着性	粘着性に優れ、金属、コンクリートなどほとんどの材質によく粘着します。
非腐食性	イヌバシールは金属やコンクリートなどを腐食・変質させることはありません。
耐炎性	発煙筒の直火が5分以上当たっても延焼・炭化しません。
加工性	防水面の形状に合わせ、現場で簡単にカットして施工できます。
安全性・環境性	シリコーン製なので、安全性が高く、環境にも優しい製品です。

Contents

イヌバシール 特長/一般特性 …… P2
イヌバテープトウメイ 特長/一般特性/施工手順/採用のメリット …… P4
粘着力 粘着性試験/引張せん断試験/ひび割れ追従性試験/付着強さ試験 …… P6
信頼性 耐候性試験/屋外放置試験/塩害暴露試験/耐水・耐塩水・耐アルカリ・耐酸性試験/疲労耐久試験/絶縁破壊試験 …… P8
耐火性 耐炎性試験/防火性能試験 …… P10
イヌバシールの施工概要 標準的な施工断面図 …… P11
施工実績 …… P12
施工後に生じる生じる可能性のある現象 …… P14
製品ラインアップと梱包仕様/取り扱い上の注意事項 …… P15

■ 一般特性

項目＼製品名	イヌバシール HNS-200	パッチシールトウメイ HNS-200T	パッチシールクロス HNS-200B
タイプ	 	 	 ※ロールタイプはありません。
構造			
特長	一般タイプ	一般タイプ	ガラスクロス補強タイプ
外観	灰色	灰色	白色透明
補強層	なし		ガラスクロス
標準サイズ mm	シートタイプ: 300×1,000 400×1,000 ロールタイプ:50×3,000 100×3,000		シートタイプ:400×1,000
厚さ mm	1.8		1.5
粘着性	自己粘着性		自己粘着性
硬さ 基材層 タイプA	55		70
硬さ 粘着層 アスカーCSR2	15以下		15以下
引張強さ* MPa	10.0		70.0
引裂強さ* クレセント形 kN/m	50		250
切断時伸び* %	800		2
使用温度範囲 ℃	-40～180		-40～180
絶縁破壊電圧 kV	30以上		20以上
低分子シロキサン量 %	0.83（Σ D_3-D_{10}）		0.27（Σ D_3-D_{10}）

*基材層の測定値

（規格値ではありません）

端部シール用シリコーン接着テープ

イヌバテープトウメイ™

イヌバテープトウメイは、イヌバシールの端部・重ね合わせ部分の仕上げに使用することで、
防水の信頼性を高めるパテ状の接着テープです。

貼り付け後、一昼夜で硬化接着し、イヌバシールにもモルタル土台面をはじめ、各種被着体にも強固に接着します。

コーキングガン・マスキングテープが不要で、誰でも簡単にきれいに施工できます。

パテ状物なので、衣服や施工周辺を汚すことなく、隙間への充填が可能です。

廃棄物が少なく、環境にも優しい製品です。

施工要領は、QRコードから動画でご覧いただけます。

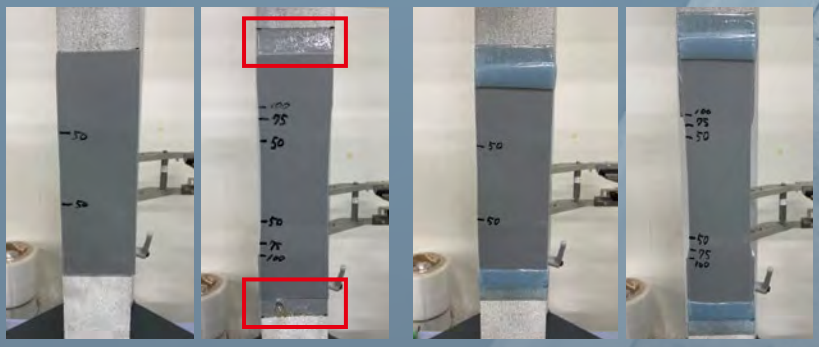
■イヌバテープトウメイ使用の効果

イヌバシールの端部、重ね合わせ部にイヌバテープトウメイを使用することにより、次の効果があり、防水の信頼性が高まります。

・大きな変形時の位置ずれを防ぎます。
・粘着層の露出を避け、
　粘着層への塵埃の付着・侵入を防止します。
・外的要因による端部のめくれを防止します。

50mmの隙間が100mmに拡張する場合の端部テープなし（左）とあり（右）を比較

テープなしでは粘着層が露出　　テープありではイヌバシール端部を保持



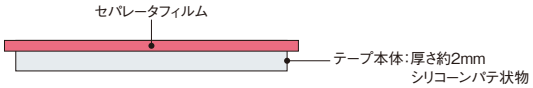
■試験方法

目地部敷設を模して50mmの隙間を設けた2枚のモルタル板に、イヌバシールのみ（テープなし）と、端部にテープを使用したイヌバシールを貼った試験体を準備。（株）島津製作所製オートグラフを用い、引張速度50mm/min.で50mm隙間を75mm位置まで引っ張り、10分保持。さらに100mm位置まで引っ張り、10分保持して状態を確認した。

■試験結果

イヌバシールのみ（テープなし）では50mm→100mm（移動量50mm）の拡張により、端部の粘着層が大きく露出したが、端部にテープを使用したものでは、テープがイヌバシール端部をしっかりと保持した状態を保っており、粘着層の露出や位置ずれが発生しなかった。
大きな動きが想定される場合には、端部の粘着層が露出して外的要因を受けやすくなるため、イヌバテープトウメイの端部処理が有効と考えられる。

■ 一般特性

項目＼製品名		イヌバテープトウメイ	
タイプ		透明タイプ	
構造		 セパレータフィルム／テープ本体：厚さ約2mm シリコーンパテ状物	
色調	セパレータフィルム	ピンク	
	テープ本体	透明	
標準サイズ	mm	25×3,000	
硬化後（シリコーンゴム）試験項目		測定値	環境条件（養生日数）
硬さ　タイプA		45	23℃/50%RH（8日間）
引張強さ	MPa	5.4	
切断時伸び	%	730	
引裂強さ　アングル形	kN/m	16	
対モルタル接着性*	N/cm	22	23℃/50%RH（8日間）
		17	40℃/95%RH（8日間）
対イヌバシール接着性*	N/cm	47	23℃/50%RH（8日間）
対イヌバテープトウメイ接着性*	N/cm	65	23℃/50%RH（12日間）

*180度 剥離、テープの幅：10mm

（規格値ではありません）

イヌバテープトウメイ 施工手順

イヌバテープトウメイは、イヌバシールの併用材料として、さまざまな施工箇所で採用されています。

1 清掃

貼り付け面をアルコールなどで清掃し乾燥させます。

- 洗剤を使わないでください。
- 貼り付け面は素手で触らないでください。
  手袋の着用を推奨します。

2 重ね合わせ部分への貼り付け

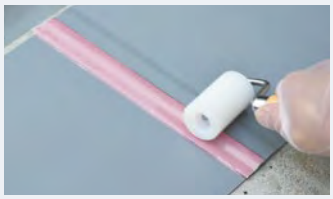
包装開封後は、30分以内を目安に使い切ってください。

- 空気中の水分と反応して硬化と接着が進行します。

適当な範囲まで貼り付けてからはさみでカットします。

3 押さえ付け

セパレータフィルムの上から指先と小型ローラーで
まんべんなく押さえ付けます。



4 セパレータフィルムを剥がす

セパレータフィルムを180度の方向に静かに引き剥がします。

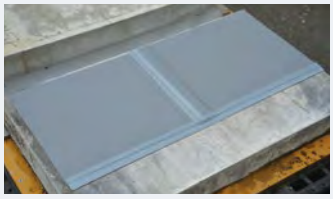
- 真上に引っ張ると、浮き上がることがあります。
  その場合は、セパレータフィルムを用いて再度押さえ付けてください。

5 端部への貼り付け
テープ同士の重なり部分の押さえ付け

セパレータフィルムを使って
上からしっかり押さえ付けてください。

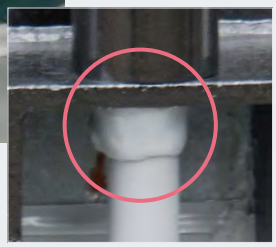
6 完成

表面が硬化するまでは触らないでください。
一昼夜おいて完成です。



■ イヌバテープ採用のメリット

屋外タンクアンカーボルトシャフトの
根元･ボックス上部の防水



採用ポイント
シリコーンシーリング材と比較して
作業効率がアップし、仕上がりも良好

アンカーボルト頭部の防食

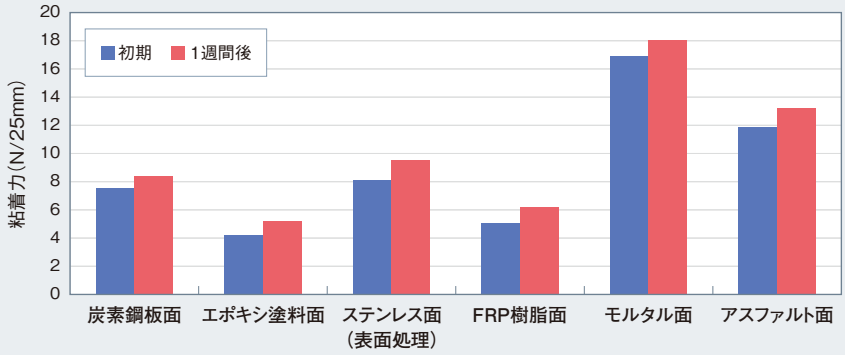
採用ポイント
巻きつけるだけで簡単に施工できます

粘着力

粘着性試験　さまざまな材質に強い粘着力を発揮します。

■ 試験結果

試験をした全ての材質に強固に粘着し、1週間放置後には粘着力が増加した。

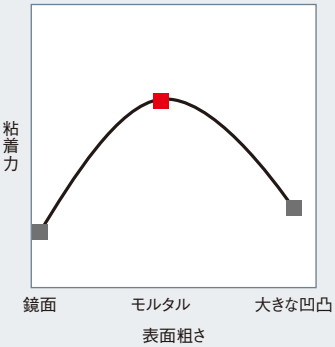


表面粗さ　Ra　μm	0.29	0.40	0.49	0.50	NA	NA
粗さのレベル	小	小	小	小	中	大

●被着体から連続して水が噴き出したり、にじみ出しているところでは粘着力は発現しません。
被着体が十分に乾燥した状態で装着してください。

敷設後、端部を少し引き上げて、
糸引き状態を確認してください。

■ 粘着力と表面粗さの関係（イメージ）



適度な凹凸に高い粘着力を示します。

■ 試験条件

・テストピース　イヌバシール HNS-200　長さ200mm×幅25mm
・試験方法　イヌバシールを各種被着面に手で貼り、20分後と1週間屋外放置後に
株式会社島津製作所製オートグラフにてJIS C 2107電気絶縁用粘着テープ試験方法に準じた
180°方向剥離試験で粘着力を測定（テストスピード:300mm/min）。

引張せん断試験　大きな動きに追従します。

■ 試験結果

イヌバシール

JISモルタルへの一枚貼り

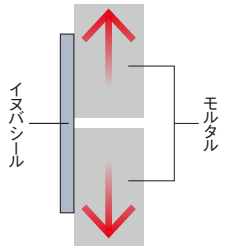
貼り付け面	時間	最大試験力　N/40mm	変位量　mm
モルタル	20分後	30.2	42.6
	4日後	70.3	80.3
	8日後	73.4	85.6

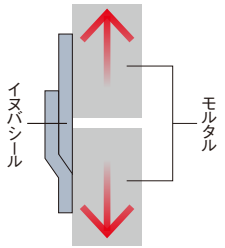
※変位量は最大試験力を示した時の値です。　（規格値ではありません）

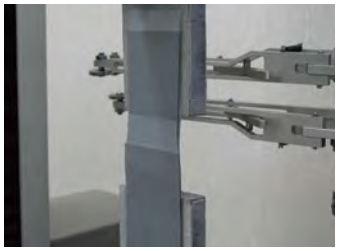
重ね合わせ部分の粘着力

貼り付け面	時間	最大試験力　N/40mm	変位量　mm
モルタル	20分後	23.2	32.6
	4日後	60.4	68.7
	8日後	61.6	70.3

※変位量は最大試験力を示した時の値です。　（規格値ではありません）





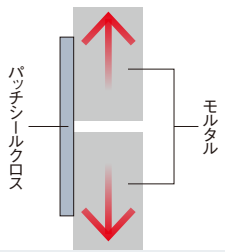


パッチシールクロス

JISモルタルへの一枚貼り

貼り付け面	時間	最大試験力　N/40mm	変位量　mm
モルタル	20分後	84.0	53.0
	4日後	92.0	55.0
	8日後	88.0	56.0

※変位量は最大試験力を示した時の値です。　（規格値ではありません）



■ 試験条件

・テストピース　イヌバシール HNS-200およびパッチシールクロス HNS-200B　長さ60mm×幅40mm
・被着体　JISモルタル
・試験方法　上図のようにイヌバシールまたはパッチシールクロスを二分割したモルタルに貼り、ゼロスパン状態から
株式会社島津製作所製オートグラフにて引張せん断接着強さを測定（テストスピード:50mm/min）。

ひび割れ追従性試験　優れたひび割れ追従性を発揮します。

■ 試験結果

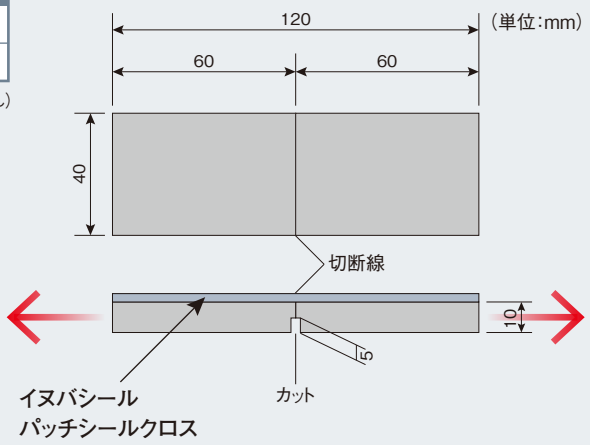
イヌバシール、パッチシールクロスが破断することなく、40mm以上の変位に追従できた。

最大引張強さを示した時の変位量

条件＼テストピース		イヌバシール	パッチシールクロス
一枚貼り品	mm	40.8	49.9
重ね合わせ品	mm	55.6	44.7

（規格値ではありません）

■ 試験体の形状



■ 試験条件

- テストピース　イヌバシール HNS-200およびパッチシールクロス HNS-200B
- 被着体　JSCE-K 532-2013準拠テストピース（モルタル）
- 試験方法　JSCE-K 532-2013
  7.表面被覆材のひび割れ追従試験方法（案）に準じて測定。
  切断したモルタルテストピース同士をゼロスパンで突き合わせ、
  表面にブリッジ状にイヌバシールまたはパッチシールクロスを貼る。
  モルタルテストピース同士を5mm/分の速度で水平に引き離して、
  製品の破断や剥離の状態を確認する。
- 測定機関　一般財団法人 日本塗料検査協会

付着強さ試験　垂直方向にも優れた粘着力を発揮します。

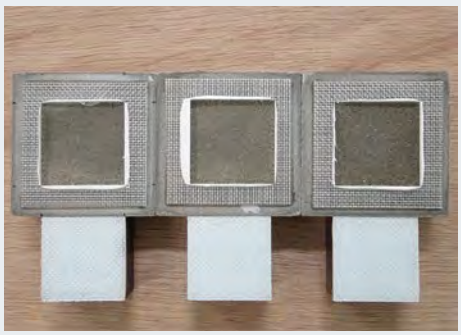
■ 試験結果

優れた付着強さを確認できた。

項目＼テストピース		イヌバシール	パッチシールクロス
付着強さ	N/mm²	0.10	0.09
最大引張荷重	N	155	148
破断場所		基板と粘着層の界面破断	粘着層の凝集破壊

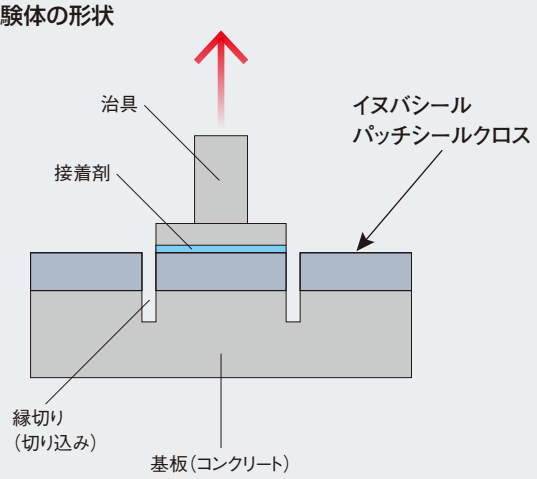
（規格値ではありません）

イヌバシールの破断状況



パッチシールクロスの破断状況

■ 試験体の形状



■ 試験条件

- テストピース　イヌバシール HNS-200およびパッチシールクロス HNS-200B
- 被着体　JSCE-K 531-2013
  6.表面被覆材の付着強さ試験（案）
  4.1標準状態試験体の試験方法準拠テストピース（モルタル）
- 試験方法　JSCE-K 531-2013
  6.表面被覆材の付着強さ試験（案）4.1標準状態試験体の試験方法に準じて測定。
  モルタルテストピースに貼ったイヌバシールまたはパッチシールクロスの背面に固定した治具を
  鉛直方向に1,500～2,000N/分で引っ張り上げ、最大引張荷重と付着強さを求める。
  また、その際の破断箇所と状態を確認する。
- 測定機関　一般財団法人 日本塗料検査協会

信頼性

耐候性試験　17年間相当後でもゴム弾性を持ち、良好な状態を保ちます。

■ 試験結果

シート表面は破損箇所がなく、良好な状態を保っている。5,000時間（17年間相当*）経過後は切断時伸びの低下はみられるものの、粘着力は初期より大きくなった。

*紫外線照射量からの換算値

項目＼時間	初期値	1,750時間（6年間相当）後	5,000時間（17年間相当）後	10年後の実績*
引張強さ　MPa	10.0	10.3	10.5	10.1
切断時伸び　%	800	700	560	500
粘着力　N/50mm	8.2	10.5	11.1	—
シート厚さ　mm	1.79	1.73	1.74	1.70

*フィールド実績地：群馬県高崎市　　（規格値ではありません）

施工10年経過後も雨水のはっ水性を維持

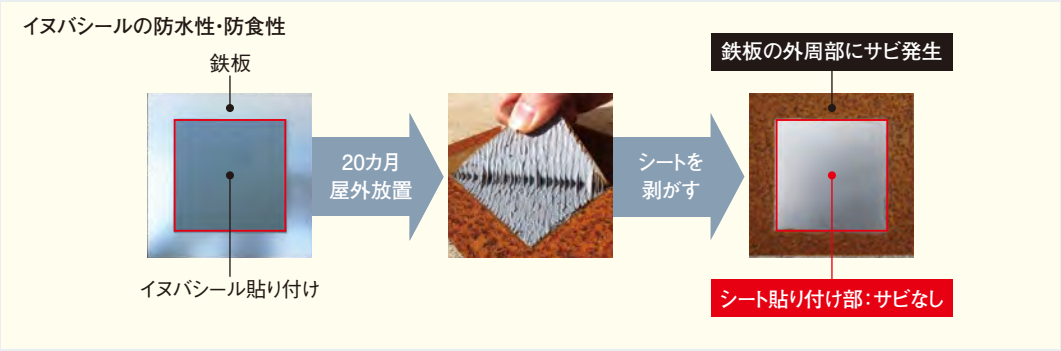
■ 試験条件

・テストピース　イヌバシール HNS-200　長さ150mm×幅50mm
・被着体　ステンレス板（SUS-304）
・試験方法　イヌバシールをSUS板に貼り、外周をシーラントマスター300-Gでシール。
サンシャインウェザーメーターで120分/1サイクル、光源照射中に水を18分間噴射。
1,750時間（6年間相当）、5,000時間（17年間相当）後に物性を測定。

屋外放置試験　サビの抑制効果を発揮します。

■ 試験結果

イヌバシールを貼った部分にはサビは発生せず、貼っていない外周部にはサビが発生した。



■ 試験条件

・テストピース　イヌバシール HNS-200　100mm角
・被着体　鉄板（SPCC）
・試験方法　イヌバシールを鉄板中央部に手で貼り、20カ月屋外放置。

塩害暴露試験　海水の塩害に対してもサビの抑制効果を発揮します。

■ 試験結果

2年間の放置暴露後も、イヌバシールを貼った部分にはサビは発生せず、貼っていない外周部にはサビが発生した。

■ 試験条件

・テストピース　イヌバシール HNS-200　長さ100mm×幅100mm
・被着体　鉄板（SPCC）
・試験場所　茨城県鹿島コンビナート内
・試験方法　イヌバシールを鉄板中央部に手で貼り、2年間岸壁の喫水部で放置暴露。

耐水・耐塩水・耐アルカリ・耐酸性試験　性能の変化はほとんどありません。

■ 試験結果

硬さ・引張強さで若干の変化があったが、重量変化はごくわずかであり、吸収はほとんどないことが確認できた。

項目＼条件	初期値	水	5%塩水	5%苛性ソーダ	12%塩酸
外観	—	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし
硬さ変化 Point	55	-5	-5	-13	-5
引張強さ変化率 %	10MPa	+4	+6	-15	+2
重量変化率 %	—	±0	+0.5	-0.1	+0.5

（規格値ではありません）

■ 試験条件

・テストピース　イヌバシール HNS-200　JIS K-6249準拠テストピース

・試験方法　水・5%塩水・5%苛性ソーダ・12%塩酸に、イヌバシールの基材層を1週間浸漬し、取り出し後15分以内にJIS K-6249に準じて物性を測定。

疲労耐久試験　長期の振動にも耐えます。

■ 試験結果

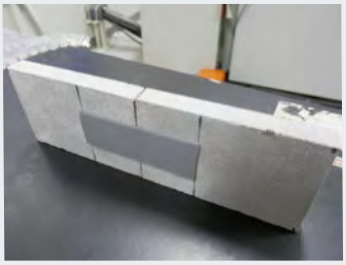
2,000万回まで破壊・ズレは発生せず、
優れた疲労耐久性が確認できた。

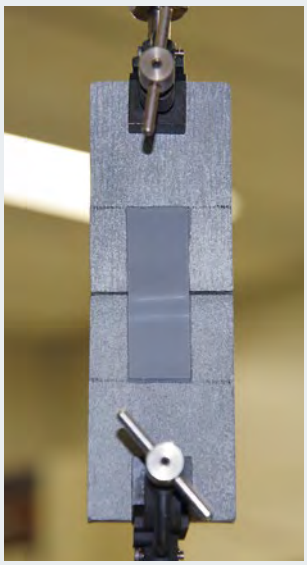
■ 試験条件

・テストピース　イヌバシール HNS-200およびパッチシールクロス HNS-200B
長さ60mm×幅20mm

・被着体　JISモルタルテストピース（長さ150mm×幅50mm、厚さ10mm）を
長手方向に半分に切断し、
ブリッジ状にイヌバシールまたはパッチシールクロスを貼り付ける。

・試験方法　上記を疲労耐久試験機にセット。
ゼロスパン状態から上下に1.5mmの隙間をつくった状態をスタートとし、
上下に±1.0mm（振幅2.0mm）で10Hzの伸縮を2,000万回与える。
この間に疲労破壊・ズレ・剥離の有無を確認する。

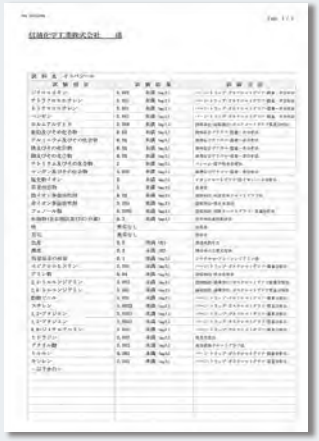




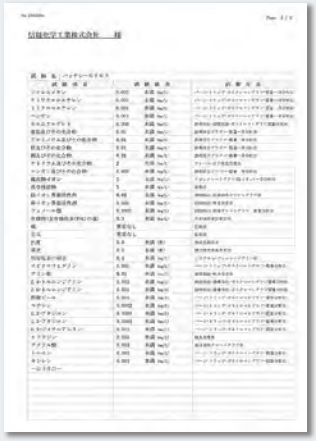
▶ 動画は右記QRコードまたはウェブサイトより、ご覧いただけます。
https://www.silicone.jp/products/type/adhesive_sheets/

水道用資機材浸出試験結果

イヌバシール



パッチシールクロス



耐火性

耐炎性試験　発炎筒を直接当てても燃焼拡大はしません。

■ 試験経過および結果

発炎筒点火
発炎筒を点火し、シートに押し付けて燃焼を開始。

着火2分後
発炎筒に接触している部分から燃焼しているが、2分経過しても延焼していない。

着火4分後
発炎筒に接触している付近のシートの変形は確認されたが、4分経過しても延焼していない。

5分40秒後
発炎筒燃焼終了。

直接火が当たっていた部分は灰化しているが、燃焼拡大はしていない。
非常に優れた耐炎性を確認できた。

■ 試験条件
- テストピース　イヌバシール HNS-200　長さ500mm×幅300mm
- 試験方法　①幅360mm×高さ600mm、厚さ50mm、重量30kgの試験体モルタルブロック2枚を、幅50mmの隙間を空けて横に並べて設置
  ②モルタル表面にウレタン系塗料を塗布
  ③テストピースを隙間に施工
  ④端部をシーラントマスター300-Gでシール
  ⑤発炎筒を点火し、シートに押し付けて試験を開始
  ⑥発炎筒が燃焼し終わる(5分強)まで、状態を観察

耐炎性試験終了後の外観

表側

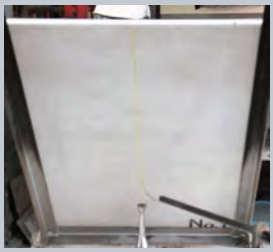
裏側(拡大)

動画は右記QRコードまたはウェブサイトより、ご覧いただけます。
https://www.silicone.jp/products/type/adhesive_sheets/

防火性能試験　優れた防火性能を発揮します。

NEXCO基準による試験

■ 試験経過および結果



着火前

燃焼開始直後

7分後

燃焼後

直接、火が当たっていた部分は灰化しているが、燃焼拡大はしていない。
優れた防火性能が確認できた。

■ 試験条件
- テストピース　パッチシールクロス HNS-200B　長さ600mm×幅900mm
- 試験方法　NEXCO試験方法
  試験法738-2011「トンネル保有材料の延焼試験方法」に基づいて測定。
  加熱時間は10分で、燃焼ガスはLPGを使用する。
- 測定機関　一般財団法人 建材試験センター

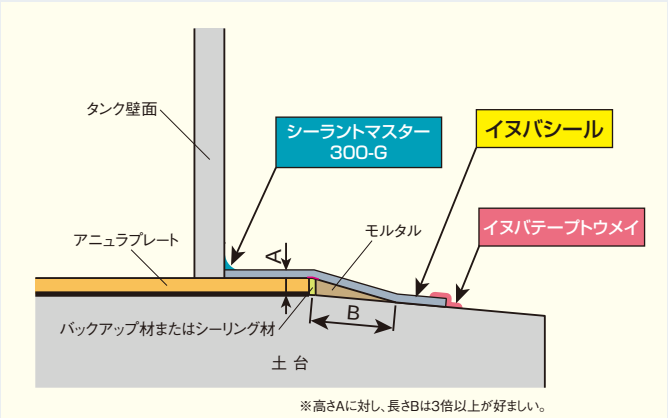
パッチシールクロスが実証した防火安全性能

- NEXCOトンネル延焼試験　合格
- 防耐火性能試験4.9不燃性能試験方法 ガス有害性試験　合格

イヌバシールの施工概要

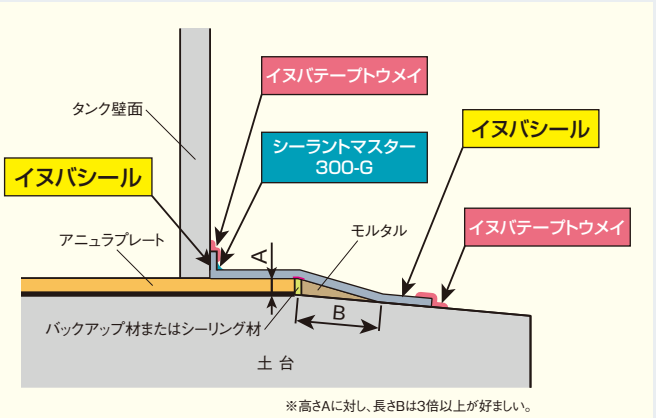
標準的な施工断面図

■ 犬走り部の平面部分のみの場合



※高さAに対し、長さBは3倍以上が好ましい。

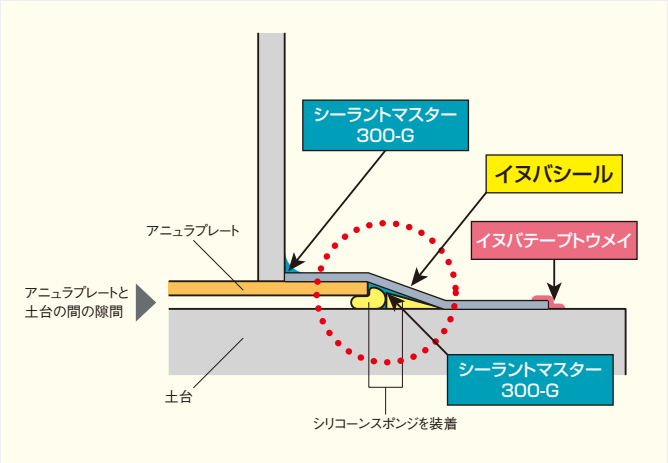
■ タンク側面部への立ち上がりがある場合



※高さAに対し、長さBは3倍以上が好ましい。

■ シリコーンスポンジのバックアップを使用する例

アニュラプレートと土台の間の段差は、モルタルによるスロープ付けに代えて
シリコーンスポンジ※のバックアップとシーラントマスター300-Gを用いることも有効です。この場合、材料全てがシリコーンゴムとなりますので、
耐候性のある柔軟な素材でアニュラプレートの動きを吸収することができます。※別途お問い合わせください。



このシリコーンスポンジは独立発泡のためほとんど吸水しません。

試験結果

条 件	取り出し30分後の重量変化率
室温水中×1,000h	<±1%
50℃温水中×1,000h	<±1%
85℃/湿度85%×1,000h	<±1%

試験方法

シリコーンスポンジを、室温水中・50℃温水中・85℃/85%環境で1,000時間放置し、
取り出し30分後の重量変化率を測定。

シリコーンスポンジのラインアップ

製品名	断面形状	長さ	販売単位
シリコーンサンカクスポンジ(8×25)10M	底辺8mm×高さ25mmの二等辺三角形	10m/本	1本/Lot～
シリコーンシカクスポンジ(10×30)10M	底辺30mm×高さ10mmの長方形	10m/本	1本/Lot～
シリコーンマルスポンジ(ファイ15)10M	直径15mmの丸形状	10m/本	1本/Lot～
シリコーンマルスポンジ(ファイ25)10M	直径25mmの丸形状	10m/本	1本/Lot～

イヌバシールのはっ水性

優れたはっ水性で雨水の浸入を防ぎます。

施工後5年を経過しても優れたはっ水性を維持し続けます。

施工実績

タンク側面への立ち上げをつけた施工例

〔立ち上げ部上端辺〕と〔重ね合わせ部〕および〔平面部外周〕にイヌバテープトウメイ、
平面部とタンク側面の〔入り隅〕にはシーラントマスター300Gを使用しています。

平面部とタンク側面の〔入り隅〕にはシーラントマスター300Gを使用します。

外側のシールを省略した施工例

脆弱なアスファルトの表面にSコート57を下地塗布

小規模タンクでモルタル土台側面までカバーした例

タンクヤード防油堤目地シールでの採用例

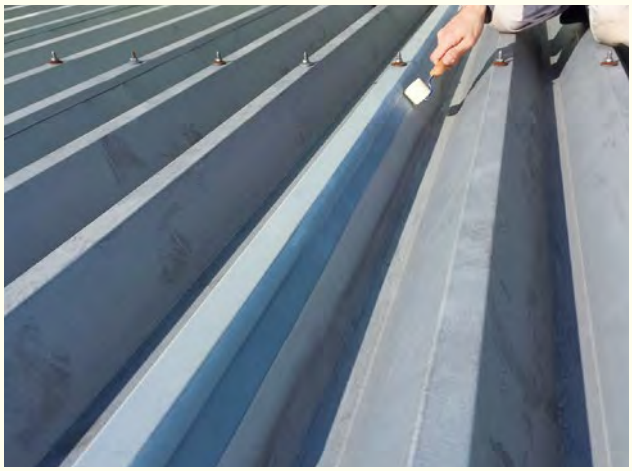
ドーム状タンク屋根目地での採用例

直径60mタンクへの施工例　米国ルイジアナ州 シンテック社

タンクヤード以外での応用例

陸屋根の雨漏り防止の補修例

イヌバシールが折板屋根の雨漏り防止用に活用された例



工場建屋内コンクリート排水溝の補修例

水質汚濁防止法の改正（平成27年適用）に対応するため、
汚染物質の地中への漏出防止が図られました。

防錆、防食施工例（パッチシールトウメイを使用）

腐食を予防し、経過を目視確認できます。

配管溶接部

H鋼基部

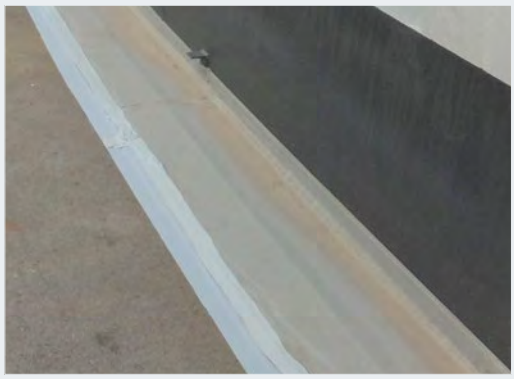
施工後に生じる可能性のある現象

外周端部の剥がれ発生

脆弱なアスファルト土台では、イヌバシール外周端部のシールを行うと内側に引っ張られる力で端部にクラックが生じる場合があります。この場合、最外周のシールを省略して対処します。イヌバシールが横方向に追従します。
（P6 引張せん断試験参照）

外周端部シールを省略しても可

補修が必要な場合は、
細長く製品を貼り、
外周部はシールを省略します。



シワの発生

イヌバシールは高強度の薄いゴムシートのため、施工後にタンクの動きなどで部分的な膨らみやシワが生ずることがありますが、雨水浸入防止の性能に問題はありません。

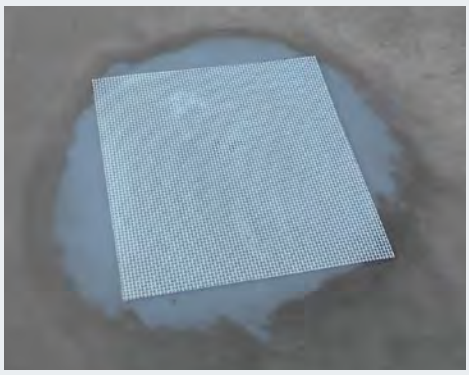
タンク底板と土台の間のエアーを逃がすために シリコーンゴムチューブを使用した例

※シリコーンゴムチューブについては、別途お問い合わせください。

エアーも水蒸気も共に逃がせます。

変色
（合成ゴムの上の部分が茶色に変色したテスト例）

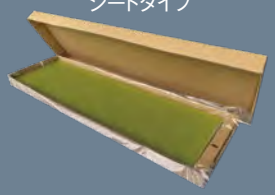
被着体が一部合成ゴムの場合、可塑剤などの成分の移行によりイヌバシールの表面が変色する場合があります。この場合、養生テープなどで、残存する合成ゴムとイヌバシールの間を縁切りしてください。



鳥害（カラスなどの鳥類がかじるという現象が発生した場合）

あけられた穴の周囲をアルコールなどで洗浄し、その部分から雨水が入らないようにシートを貼って補修します。

製品ラインアップと梱包仕様

タイプ ＼ 製品名	イヌバシール HNS-200	パッチシールトウメイ HNS-200T	パッチシールクロス HNS-200B
シートタイプ  ※シートタイプは、輸送・保管時には縦置きは避けてください。	300×1,000mm（10枚/梱包）	300×1,000mm（10枚/梱包）	—
	梱包寸法：360×1,110×60mm 製品込み重量：9kg		
	400×1,000mm（10枚/梱包）	400×1,000mm（10枚/梱包）	400×1,000mm（10枚/梱包）
	梱包寸法：470×1,110×60mm 製品込み重量：12kg		梱包寸法：470×1,110×60mm 製品込み重量：11kg
ロールタイプ	50×3,000mm（20巻/梱包）	50×3,000mm（20巻/梱包）	—
	梱包寸法：360×530×150mm 製品込み重量：10kg		
	100×3,000mm（10巻/梱包）	100×3,000mm（10巻/梱包）	
	梱包寸法：360×530×150mm 製品込み重量：10kg		

イヌバテープトウメイ
25×3,000mm（10巻（袋）/梱包）
梱包寸法：200×340×180mm 製品込み重量：3kg

注）梱包仕様は変更することがあります。

包装
アルミ防湿パック 1袋に1巻入り

梱包イメージ

【イヌバシール】取り扱い上の注意事項

1. 施工にあたっては、必ず「施工要領書」をご参照ください。

※施工方法の動画は、右記QRコードまたはウェブサイト（https://www.silicone.jp/products/type/adhesive_sheets/）よりご覧いただくこともできます。

2. 低温時にセパレータフィルムが剥がしにくい場合は、加温することではがしやすくなります。
3. 溶剤や油分などが付着すると、物性が低下する恐れがありますので、ご注意ください。
4. 施工後に破れや剥がれが生じた場合は、その部分をイヌバシールとイヌバテープトウメイまたはシーラントマスター300-Gを用いて補修できます。
5. 施工後、シートの上には重い物や鋭利な物は置かないでください。また、敷設後は強い衝撃を与えたり、シートの上を歩行しないでください。
6. イヌバテープトウメイまたはシリコーンシーラントの接着に不備がある場合は、水が浸入しますので、施工には十分注意してください。
7. 敷設後に、施工面とシートの間に残存する空気により、部分的に膨らみが生じることがあります。
8. 飲料水や食品に直接触れる用途には、使用しないでください。
9. 撤去後は、一般廃棄物で処理可能です。燃焼するとシリカ（SiO_2）になります。

【イヌバテープトウメイ】取り扱い上の注意事項

1. 貼り付け面に水が付着している状態は避け、表面の乾燥を確認したうえで施工してください。
2. 貼り付け面では、さび、ごみ、繊維、砂、小石、油分、水滴などを取り除いてください。イヌバシールの表面はエタノールでの清掃が効果的です。洗剤による洗浄は接着には逆効果になりますので、使用しないでください。
3. アルミ防湿パックを開封すると、空気中の水分と反応して硬化が始まります。開封後は、30分以内を目安に使い切ってください。再度、保存することはできません。

安全・衛生上の注意事項

1. 未硬化状態のイヌバテープトウメイは、皮膚刺激性を有するので、皮膚・粘膜に付着しないように、ゴム手袋、安全めがねなどの保護具を着用してください（その際、繊維系手袋を使用すると、繊維が接着劣化の誘因となりますので、使用しないでください）。皮膚に付着した場合、ウエスなどで拭き取ってから、直ちに大量の水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。また、コンタクトレンズ着用者は、誤って目に入った場合、目に固着することがありますので、特にご注意ください。
2. イヌバテープトウメイは、硬化時にメチルエチルケトオキシム（MEKO）を発生しますので、取り扱いの際には換気を十分に行い、蒸気の吸入を避けてください。蒸気の吸入の恐れがある換気の悪い場所での使用は避けてください。もし、蒸気を吸入して気分が悪くなったときは、直ちに新鮮な空気の場所に移動してください。

共通の注意事項

1. 低分子シロキサン対策品ではないため、電気・電子用途には使用しないでください。
2. 子どもの手の届かないところに保管してください。
3. 使用前には安全データシート（SDS）をお読みください。SDSは、担当営業部署までご依頼ください。

信越化学工業株式会社

イヌバシール、パッチシールクロス、イヌバテープトウメイについてのお問い合わせは

本社　シリコーン事業本部　〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング
営業第三部……☎(03)6812-2409

大 阪 支 店　〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-11-4 損保ジャパン肥後橋ビル……☎(06)6444-8226
名古屋支店　〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-5-28 桜通豊田ビル……☎(052)581-6515
福 岡 支 店　〒810-0001 福岡市中央区天神1-12-20 日之出天神ビル……☎(092)781-0915

ご用命は

●当カタログのデータは、規格値ではありません。また記載内容は仕様変更などのため断りなく変更することがあります。

●ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかご確認ください。なお、ここで紹介する用途や使用方法などは、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。

●安全性についての詳細な情報は、安全データシート(SDS)をご参照ください。SDSは、当社ウェブサイトからダウンロードしてください。なお、ウェブサイトに掲載されていない場合は、担当営業部署までご依頼ください。

SDSダウンロードURL:
https://www.silicone.jp/support/sds/

●当社シリコーン製品は、一般工業用途向けに開発されたものです。医療用その他特殊な用途へのご使用に際しては貴社にて事前にテストを行い、当該用途に使用することの安全性をご確認のうえご使用ください。なお、医療用インプラント用には絶対に使用しないでください。

●このカタログに記載されているシリコーン製品の輸出入に関する法的責任は全てお客様にあります。各国の輸出入に関する規定を事前に調査されることをお勧めいたします。

●本資料を転載されるときは、当社シリコーン事業本部の承認を必要とします。

当社のシリコーン製品は品質マネジメントシステムおよび環境マネジメントシステムの国際規格に基づき登録された下記事業所および工場にて開発・製造されています。

群馬事業所　ISO 9001　ISO 14001
(JCQA-0004　JCQA-E-0002)
直江津工場　ISO 9001　ISO 14001
(JCQA-0018　JCQA-E-0064)
武 生 工 場　ISO 9001　ISO 14001
(JQA-0479　JQA-EM0298)

https://www.silicone.jp/

このカタログの記載内容は、2025年4月現在のものです。

©Shin-Etsu 2013.2/2025.4⑳5.M.G. Printed in Japan.